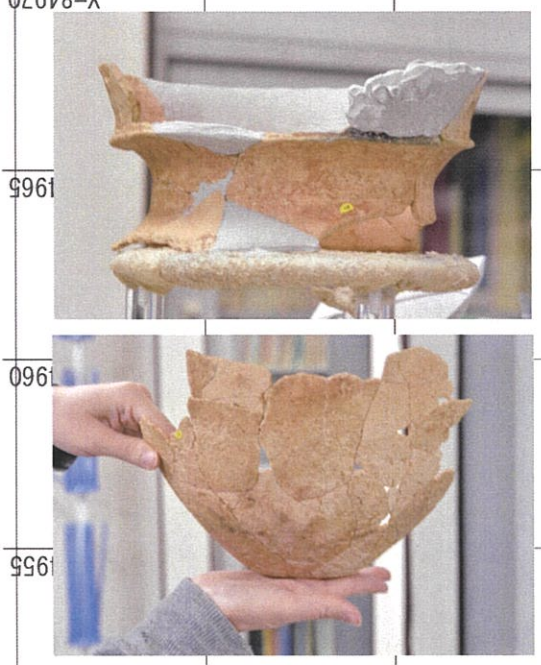


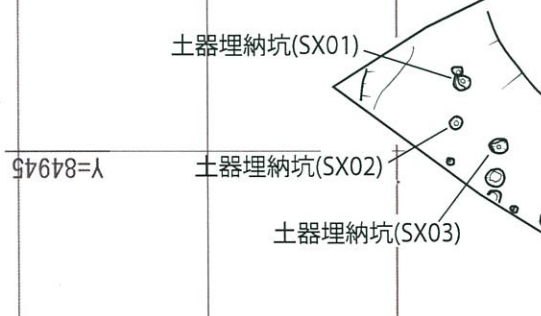
<加工段と土製支脚の解説図>
参考資料：シリーズ しまねの遺跡 発掘調査パンフレット5
「大田市久手町 市井深田遺跡」
2015年 島根県教育庁埋蔵文化財調査センター



…焼土塊や炭が大量に投げ込まれた土坑
この土坑の中から鉄を鍛える時に発生する鉄片（鍛造剥片）
が見つかったことから、ここが鉄製品を修理する工房であった
可能性があります。



<古墳時代の土器埋納坑>

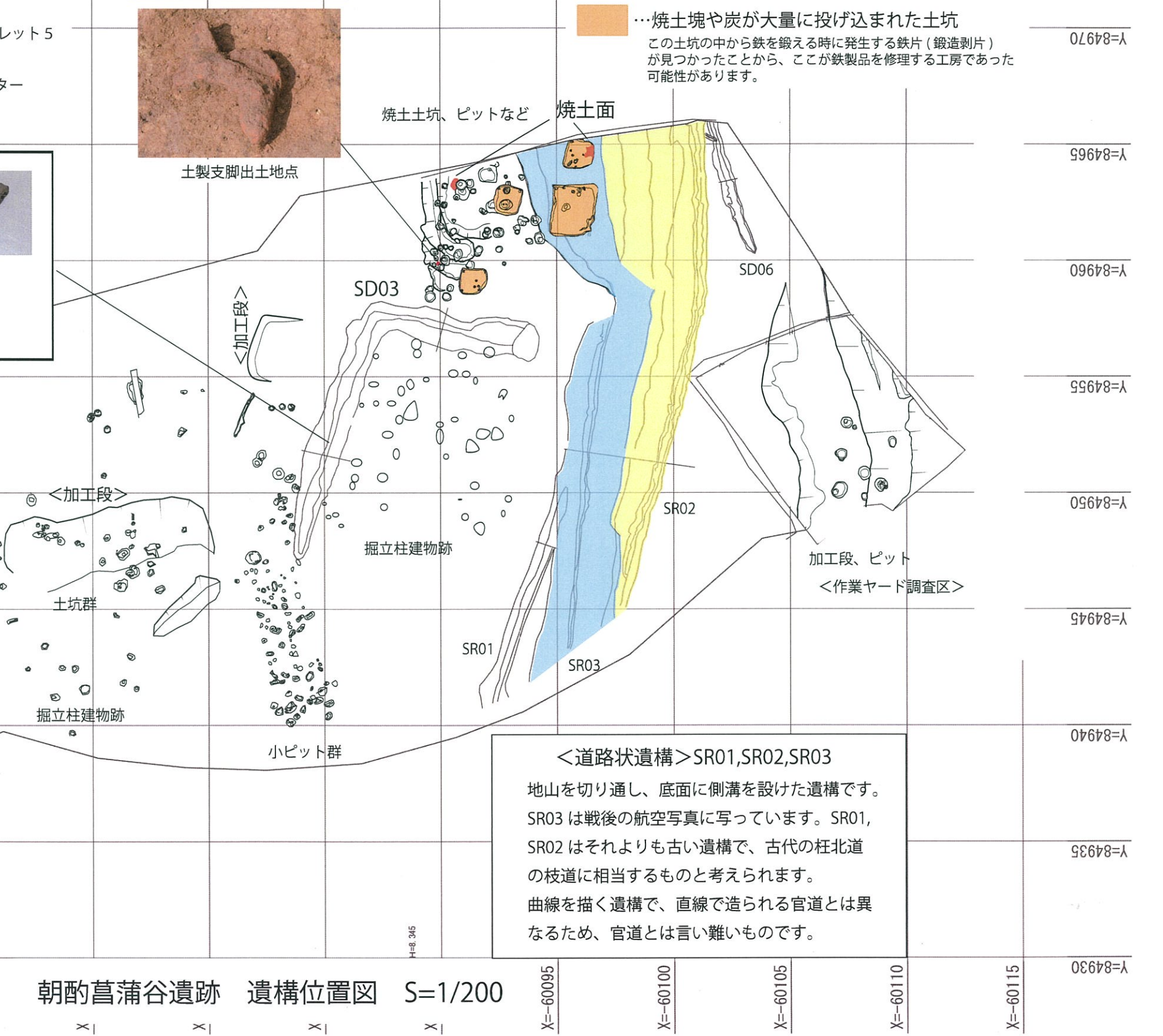


<溝状遺構>

朝酌菖蒲谷遺跡 発掘調査概要

古墳時代前期の土器（壺）埋納坑のほか、奈良時代から平安時代にかけての鍛冶工房など建物跡が見つかりました。これらの建物跡は、「枉北道」が見つかった魚見塚遺跡と同時代にあたります。

このほか、道路状遺構が見つかるなど、現在も調査中ではありますが、今まであまり知ることのできなかった古墳時代前期から古代にかけての朝酌の歴史の一端を垣間見ることができる貴重な成果が得られています。



<道路状遺構>SR01,SR02,SR03
地山を切り通し、底面に側溝を設けた遺構です。
SR03は戦後の航空写真に写っています。SR01,
SR02はそれよりも古い遺構で、古代の枉北道
の枝道に相当するものと考えられます。
曲線を描く遺構で、直線で造られる官道とは異
なるため、官道とは言い難いものです。